

## 海老名災害ボランティアネットワーク 2019年度 第3回(6月)定例会、議事録

開催日時：2019年6月5日(水) 19時～21時、会場：海老名市総合福祉会館、第3娯楽室

【出席者】鷲見、野本、上野、小澤、星野、水本、松井、福田(議事録作成)、計8名

### (1) 会計より報告：(松井)

【2019年4月13日総会時の会員数】個人会員28名、賛助会員19名、団体会員3団体

① 一般会計 2019年5月末日の残金 346,412円(+54,011円)

(5月31日に海老名市社協からの活動助成金70,000円の振込があったため増えた)

【5月末まで会費納入者数、4月末との比較、総会時の会員数との比較】

個人会員20名(+2、未納8)、賛助会員10名(+1、未納9)、団体会員2(+1、未納1)

★2019年度の年会費を未だ納付していない方は6月末までに納付をよろしくお願いします。

② 特別会計：2019年5月末日現在：46,000円(±0)

### (2) 活動報告；2019年5月1日～5月31日まで(○は交通費支給対象事業)

1) 5月7日(火) 神奈川災ボラ拡大運営委員会○18時30分～、会場：県民サポートセンター  
テーマ：神奈川災ボラ定期総会(6月11日)に向けた討論、出席：福田

2) 5月8日(水) 海老名災ボラ5月定例会19時～、会場：海老名市総合福祉会館第3娯楽室  
出席：上野、小澤、杉山、野本、星野、水本、山本、福田 計8名

3) 5月10日(金) 海老名市ボランティア連絡協議会の定期総会○ 10時～12時、  
出席：水本、福田、会場：海老名市総合福祉会館第一・第2会議室  
【内容】18年度の活動報告と決算報告、19年度の役員承認、19年度の事業計画と予算など

4) 5月11日(土) 神奈川災ボラ等、防災・減災体験活動フェア○ 10時～12時  
主催：実行委員会(神奈川災ボラ、SL災害ボラネットなど)、会場：横浜・沢渡中央公園  
体験・展示28科目と多様、参加者：全体で500人、海老名災ボラの出席2名：福田、上野

5) 5月11日(土) イオン黄色いレシートキャンペーン○13時～14時、出席：三宅

6) 5月22日(水) 海老名災ボラ・ネットワークだより34号の印刷作業等○ 9時～12時  
自治会回覧用のため約5500枚を印刷し、自治会別に仕分けあいて市役所地下へ配置した。  
【出席】福田、杉下、坪内、吉野(個人会員)、石丸航(賛助会員)計5名

7) 5月22日(水) 神奈川災ボラ拡大運営委員会○、18時30分～、県民サポートセンター  
【内容】6月11日(火)の神奈川災ボラ定期総会に向けた討論、【出席】福田

8) 5月28日(火) 神奈川災ボラ第2回理事会、会場：県民サポートセンター  
海老名災ボラが加盟している神奈川災ボラの総会議案書の討論、【出席】福田(神奈川災ボラ理事)

9) 5月30日(木)、海老名防災関係3者定例会○、14時～15時30分、総合福祉会館  
出席：社協：岩澤、危機管理課：川崎、田代、災ボラ：星野・福田

10) 5月31日(金) 手話サークル「さつき会」主催を災ボラが支援・協力○  
「非常食の食べ方」と「災害時のトイレの使い方」に関する勉強会を「手話サークルさつき会」が主催、海老名災ボラが講師を派遣。「さつき会」会員+聴覚障がい者、約30名集合。福祉会館では卓上コンロなど「火器の使用禁止」のため、魔法瓶で調理を実演し試食。【出席】水本、三宅、福田

11) 6月3日(月) 16時～今泉小学校「防災マップづくり」体験学習会の「打ち合わせ」○  
今泉小学校防災マップづくり体験学習会の打ち合わせ：出席：中村、福田、星野、社協：池田  
別紙：「今泉小学校担当教員との打ち合わせメモ」参照(添付ファイル)

(3) 今後の事業予定：2019年6月～7月（○は交通費支給対象事業）

2) 6月11日（火）イオン黄色いレシートキャンペーン○10時～11時、出席：水本、三宅、小澤

3) 6月11日（火）18時30分～20時、神奈川災ボラ定期総会○、会場：県民サポートセンター  
【出席予定】福田（理事）、海老名災ボラ会員は傍聴できるので、希望者は福田まで連絡してください。

4) 6月14日（金）上今泉小学校で「防災マップづくり」体験学習会を開催○

対象者：上今泉小学校の6年生3クラス（108名）、災ボラは8時に今泉小学校の駐車場に集合  
会場：上今泉小学校・体育館、講師は災ボラ：中村、サポート：福田、星野、水本、野本、小澤

5) 6月21日（金）ボラ連リーダー研修会～ボラ連定例会○、10時～

高座クリーンセンター環境プラザの見学、終了後に定例会、出席予定：水本、野本

6) 6月29日（土）10時～12時30分、「体験型講座 減災・災害対応訓練」○

会場：海老名市総合福祉会館第1～第3 娯楽室、参加者募集中（6月9日現在、市民8名）。

PR：海老名災ボラ・ネットワークだより34号（自治会回覧）、「広報えびな」6月1日号掲載

「タウンニュース海老名版6月14日号を掲載予定、海老名災ボラ・ホームページなど

★この「体験型講座～訓練」を受講していない災ボラ会員の方も受講をお願いします。福田へ連絡を

★災ボラ会員で体験者はスタッフとしての出席をお願いします。

【出席予定】福田、星野、水本、野中、野本、山本、（ ）、（ ）

7) 7月9日（火）14時～海老名防災3者定例会、会場：福祉会館○、出席予定：星野、福田

8) 7月下旬、海老名市立小学校「海老名っ子スクール」（旧「サマースクール」）へ講師派遣○

テーマ：「災害発生時の命を守る行動の訓練」、発生時に「様々な場」での緊急安全行動の訓練、

①7月23日、8時半～午前中、海老名市立有鹿小学校「海老名っ子スクール」、3～4年生で募集中

②7月24日、8時半～午前中、海老名市立東柏ヶ谷小学校「海老名っ子スクール」、低学年で募集中  
海老名災ボラ会員の中から、講師を募集中、福田まで連絡をお願いします。

(4) その他の事項：

1) 海老名災害ボラの「会員内部への公開用名簿作成」⇒そのためのアンケート調査実施（7月頃）

A 「会員内部公開用名簿」の作成についての経過

① 「海老名災ボラ会員名簿」の現状について

入会申込者が申込書に記載した事項（氏名、住所、電話番号、メールアドレス、生年月日）を基に、歴代の代表が「海老名災ボラ会員名簿」を作成・更新している。この「会員名簿」は、会員への連絡・調整や、海老名市及び海老名市社協への提出する書類作成に利用している。

「海老名災ボラ会員名簿」は、会員外からの不正アクセスや会員内部の不注意などによって個人情報が流出する危険性があるので、「個人情報保護」の観点から、限定された役員（現在は代表、副代表、会計）に情報提供され、海老名災ボラ活動のために利用されている。

② 海老名災ボラの「会員内部公開用の名簿作成」⇒「アンケート調査実施」を6月8日定例会で決定。

会員内部公開用名簿作成について、2018年度の定例会で議論され、そのための「アンケート調査」を会員全員に実施することが2018年度の定例会で決定されていた。2019年度に新入会員（13名）があったので、再び討論し6月5日（水）の定例会で、会員個々が会員内部に公開してもよい事項を記載する「アンケート調査」を実施することで、会員内部公開用名簿を作成することが了解された。

## B 「会員内部公開用名簿」の利用目的及び目的外利用の禁止

- ① 「会員内部公開用名簿」(以下、「この名簿」と略す)は、海老名災ボラ会員における日常的な連絡・調整や災害時における連絡など、災ボラ活動の維持・発展のために利用するものである。
- ② この名簿から知りえた情報をその会員の許可なく会員外に知らせることを禁止する。
- ③ この名簿から知りえた情報を、海老名災ボラ活動以外の活動(ビジネス、政治、宗教、会員個人への誹謗中傷や嫌がらせなど)に利用することを禁止する。
- ④ この名簿が何らかの原因で「会員外に漏洩する危険性」を完全には排除できないため、この名簿に記載する会員の個人情報については、個々の会員がアンケート調査で記載した事項のみとする(ただし、会員の氏名を除く)。

## C 会員内部公開用の名簿に記載される事項⇒会員がアンケート調査に記載した事項だけを公開する

- ① 災ボラ会員が今後実施するアンケート調査に記載した事項だけが公開用名簿に記載される。
  - ② このアンケートに回答しなかった会員は、名称(氏名)のみを公開用名簿に記載する。
  - ③ 「年度内に会員を辞めることを表明した会員」、「年会費を納付しない方」はこの名簿に記載しない。
- 別紙:「会員内部公開用会員名簿についてのアンケート調査」(案)参照(添付ファイル)

## 2) 海老名災ボラ会員がメーリングリストに登録する場合、「登録者の氏名だけの公開」でも可。

### ① 海老名災ボラのメーリングリスト登録者の現状(2019年4月末現在)

- 個人会員:28名中26名が登録、賛助会員19名中7名が登録、団体会員3団体中1団体が登録。
- メーリングリストの使い方:主に海老名災ボラの事業など役員から会員への情報発信(連絡事項)と、それに関する会員からの返信に使われている。ただし、メーリングリストで送信された情報がリスト登録者によって、適切な時期に読まれているかどうかについては不明である。
- メーリングリストへの新規登録者がある場合、新規登録者があったことを含め、登録者全員の「氏名とメールアドレスの名簿」をメーリングリスト登録者全員に送信している。

### ② 海老名災ボラのメーリングリストの「登録者への情報公開」の「メリット」と「デメリット」

- メリット:メーリングリストは登録者全員に一齐に情報が伝達・共有できる大きなメリットがある。これは、登録者の「氏名とアドレス」を登録者に公開しなくても実現するメリットである。現在、海老名災ボラが実施しているメーリングリスト登録者の「氏名とメールアドレス」の両方の公開は、どういう会員が登録しているかを知ることによって、メーリングリストを利用する意欲の向上(または低下)に関係する。また、氏名とメールアドレスの情報公開によって、登録者が直接的にメールで情報交換することができるようになるので、会員個人同士での情報交換が可能になる。
  - デメリット:メーリングリストでも、会員の情報が不正アクセスや登録者の不注意などによって登録者外に漏洩する危険性は完全には排除できない。また、メーリングリストで登録者に公開された「氏名とメールアドレス」が何らの原因で漏洩し、「政治、宗教、ビジネス(営利活動)、中傷や嫌がらせ」など、海老名災ボラ活動以外に利用される危険性はある。
- ③ 結論:メーリングリスト登録者の内部への情報公開について、その登録者の意向を尊重し、「氏名とメールアドレス両方」の内部公開でなくとも、「氏名だけの内部公開」でもよいことにする。

次回の定例会:7月3日(水)19時~21時、海老名市総合福祉会館、第3会議室(2階)

次々回の定例会:8月7日(水)19時~21時、海老名市総合福祉会館、第3娛樂室(1階)